

<ポイント版> ぎふ経済レポート（平成29年12月分）

【景況感】

景気は、緩やかに回復している。

【製造業】機械工業を中心に持ち直しの動きが継続

○製造業は、鉱工業生産指数が、全体的に底堅く推移し、自動車産業を中心に各企業からは、好調を示すヒアリングも多く、全体としては上向きの動きが継続している。

【地場産業】一部に持ち直しの動きもみられるが、厳しい状況が継続

○地場産業は、一部には持ち直しの動きもみられるが、海外製品等との競合、国内需要の低迷、原材料費高騰による収益の圧迫など厳しい状況が継続している。

【設備投資】投資意欲とともに投資実績も上向いており、底堅く推移している

○設備投資は、設備投資実績は前期を上回り、設備投資意欲DIにも改善がみられ、国内の金属工作機械受注額も堅調に推移するなど、業績好調な企業を中心に設備投資は好調。一方、地場産業や零細企業には設備投資に後ろ向きな姿勢もみられる。

【個人消費】消費は一部に弱さがみられるが、緩やかに回復している

○個人消費は、新車販売台数（軽自動車含む）には不正検査問題によると推測される落ち込みがみられ、大型小売店の売上も前年を下回っているが、現金給与総額や実質賃金、消費支出は改善しており、緩やかな持ち直しの動きが継続している。

【観光】天候に恵まれず、入込観光客数は伸び悩んだ

○観光は、前年と比較し、休日に雨が降る日が多くあったなど天候に恵まれず、屋外施設を中心として入込客数が伸びなかった。

【資金繰り】資金繰りは改善しているが、小規模企業には厳しい状況が継続

○企業の資金繰りは、資金繰りDIには改善がみられ、全体的には落ち着いているが、事故報告件数が前年同月比で4ヶ月連続で増加、倒産件数も前期より増加するなど、小規模企業には厳しい状況が継続。

【雇用】雇用情勢の改善とともに、人手不足感の拡大が継続している

○雇用面は、完全失業率、有効求人倍率、学生就職内定率等の関連指標は、良好に推移しており、総じて県内の雇用情勢は引き続き改善している。但し、大手志向の強まりや、求人と求職のミスマッチ等により、多くの中小企業では採用難に陥っており、人手不足が慢性化しているとともに、人件費の高まりが収益を圧迫し始めている。